

令和3年度

# 重要事項要望書



徳島市



日ごろは、徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、徳島市においても市民生活や地域経済が大きな影響を受けており、新たな脅威をもたらす世界規模での景気悪化により、先を見通すことができない危機的な状況に直面しております。

こうした中、徳島市では、新型コロナウイルス感染症から市民の命と生活を守ることを最優先に考え、感染防止対策と社会経済活動の両立に向けた取組を積極的に進めております。

一方、少子化による人口減少や超高齢社会の到来、近年多発している大規模災害への対応や公共施設の老朽化対策など、喫緊の財政需要に対応し、この非常事態ともいえる危機的局面を乗り越えていくために、現在、「行財政改革推進プラン2018」に基づき、職員一丸となって行財政改革に全力で取り組んでいるところでございます。

今後において、徳島市のまちの良さを継承しつつも新たな財政需要に対応し、周辺自治体との連携強化を十分に図りながら、「県都とくしま」をさらに前進させていくためには、徳島県のご支援やご協力が必要不可欠でございます。

つきましては、県におかれましても厳しい財政状況にあることは承知しておりますが、令和3年度徳島県予算の編成に際し、徳島市にとって必要かつ緊要な要望事項について、是非ともご理解と特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月

徳島県知事 飯 泉 嘉 門 殿

徳島市長 内 藤 佐 和 子



## 令和3年度 重要要望事項 目次

県主管部局	要 望 事 項	頁
危機管理部 農林水産部	食肉センター事業への支援について	1
政策創造部	移住・定住促進に係る支援拡充について	3
県土整備部	持続可能な地域公共交通網への広域的な支援について	5
県土整備部	高規格道路等の整備促進について	7
県土整備部	県施行による一般道路事業の推進について	9
県土整備部	県管理河川の治水及び地震・津波対策の促進について	11

# 食肉センター事業への支援について

＜ 県主管部局 危機管理部 ・ 農林水産部 ＞

## 【要望の趣旨】

施設・設備の老朽化や処理頭数の減少、求められる衛生基準への対応等、多くの課題を抱えている本市食肉センターの運営等に対する支援について要望するもの。

## ◆現況・課題等

### 現況

- 当センターは、県内でと畜される牛の約90%を処理しており、県域の基幹的な流通拠点施設。
- 畜産振興・徳島ブランドの育成を進める重要な役割を担っている。
- 改築後32年が経過しており、設備の老朽化が著しい。
- 法で求められる「と畜場の衛生管理」の対応に苦慮しており、今後導入が義務付けられるHACCPへの対応にも影響を及ぼす可能性がある。



食肉センター

### 課題

- 設備更新等による多額の費用は本市の財政上大きな負担となっている。

本市単独で運営継続が困難

- 施設構造等が、求められる衛生管理を実施するのに適したものになっていない。
- 運営をしながら改修していくには限界があり、抜本的に解決するためには、施設の新設しかないと思われる。

現施設では対応が難しい

当センターを今後も維持していくことが、県域における基幹的な流通拠点としての役割を果たし、安全・安心な食肉の安定供給や畜産業のさらなる振興につながることから、徳島県の積極的な支援が不可欠である。

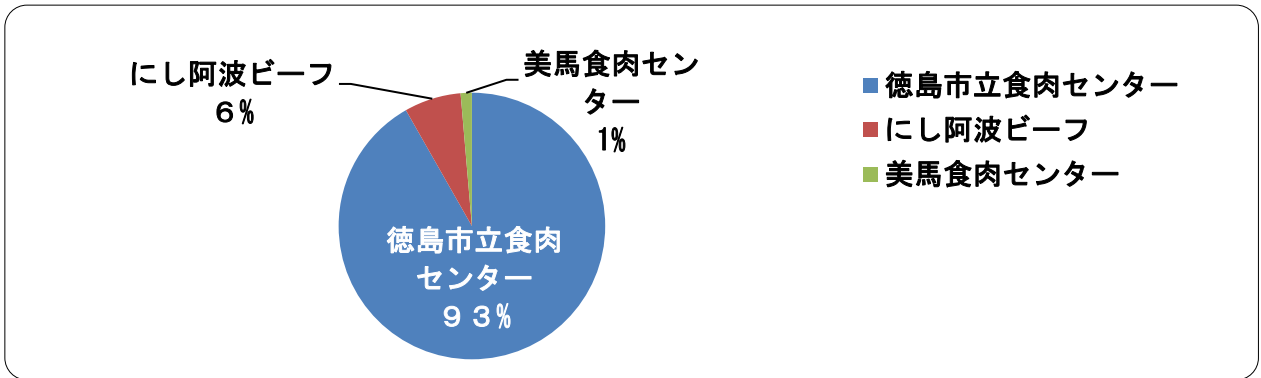
## ◆具体的要望内容

食肉センター事業の運営に対する財政措置、支援体制の充実強化及び適正規模の新施設整備のため、次の事項について特段のご配慮をお願いいたします。

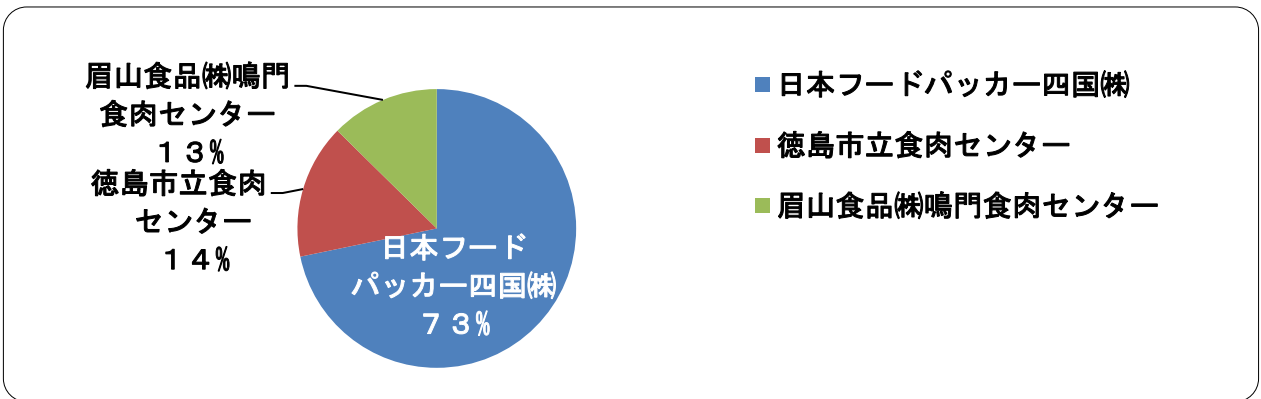
- ① 徳島県全体のさらなる畜産振興のため、県内食肉処理施設の再編合理化の推進
- ② と畜場衛生確保対策事業補助制度の継続及び補助限度額の増額
- ③ 老朽化に伴う維持・修繕費用に対する補助金の創設等、厳しい運営状況にある当センターの運営に対する負担及び支援体制の強化
- ④ 食肉センター新施設整備に伴う県補助金等の支援

徳島市担当部課名 経済部 農林水産課

### 1 徳島県内食肉処理施設牛のと畜頭数割合（平成30年度実績）



### 2 徳島県内食肉処理施設豚のと畜頭数割合（平成30年度実績）



### 3 県内市内の牛・豚飼養頭数の推移

#### (1) 牛（肉用牛）

年度	徳島県		徳島市	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数
平成26年度	207	24,800	7	624
平成27年度	202	22,600	7	585
平成28年度	197	22,600	7	532
平成29年度	197	22,700	7	532
平成30年度	197	22,500	6	721

#### (2) 豚

年度	徳島県		徳島市	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数
平成26年度	29	39,600	0	0
平成27年度	—	—	—	—
平成28年度	25	36,200	0	0
平成29年度	23	39,500	0	0
平成30年度	23	39,600	0	0

※阿波の畜産（徳島県）参照。徳島県家畜保健衛生所の聞き取り



徳島県内における徳島市内の飼養頭数の割合は、平成30年度で牛が約3.2%、豚については0%であり、市内産の割合は非常に少ない。

# 移住・定住促進に係る支援拡充について

＜ 県主管部局 政策創造部 ＞

## 【要望の趣旨】

本県の人口減少の克服に向け、都市部住民の「WITH・コロナ時代」の地方回帰志向を徳島への移住・定住へと誘う取組みについて、更なる加速を要望するもの。

### ◆現況・課題等

#### 現況

- 平成31年4月に「徳島市移住交流支援センター」を設置し移住支援を実施している。
- 地方の社会増減は、依然として、転出が転入を上回っており、若者をはじめとする人の流れの東京圏への一極集中が加速している。
- 一方、内閣官房の調査(令和2年1月)では、東京圏在住者の約半数が「地方圏での暮らしに関心」を持っており、今後、移住・定住や多拠点生活が増加することが想定される。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための「新しい生活様式」の対応により、勤務場所に捉われないテレワークが普及しつつある。

#### 課題

- 各市町村の「移住交流支援センター」では、多様化・専門化する移住者のニーズへの総合的な対応が難しい場合もあり、サポート体制の確立が急務である。
- 全国的に移住を促進する中、他県との差別化を図るため、本県ならではの魅力を打ち出し、移住希望者に届く効果的な情報発信を図る必要がある。
- 移住希望者の多様なニーズに的確に対応できる支援や方策の検討が求められている。
- 移住者を応援する国の「地方創生移住支援事業」の積極的な活用が必要である。

本県への移住・定住の促進のため、「移住相談の充実」や「移住支援施策の強化」に向け、挙県一致による取組加速が必要である。

### ◆具体的要望内容

東京圏等からのUIJターン促進のため、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 本県の移住支援の核となる「とくしま移住交流促進センター」や国の機関（ハローワーク等）と連携した「就業相談」支援、市町村の移住相談充実に向けたサポート（事例集やマニュアルの展開等）
- ② 県内外の移住希望者に徳島市をはじめ徳島の魅力を実感していただくため、移住体験ツアーの継続的な実施や移住関連支援制度の拡充
- ③ 地方創生交付金を活用する「移住支援金」の活用拡大に向け、対象要件の緩和に向けた提言や県が指定する移住支援金対象求人の増加



## 1 徳島市における社会増減の推移 (単位：人)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
全体	▲ 2 1	7 4	1 2 8	▲ 1 5 4	▲ 5 2 8
転入	8,004	7,603	7,708	7,460	7,308
転出	8,025	7,529	7,580	7,614	7,836
対県外	▲ 8 6 6	▲ 6 3 5	▲ 6 5 6	▲ 9 8 1	▲ 1,351
転入	4,229	3,965	4,281	3,965	3,871
転出	5,095	4,946	4,937	4,946	5,222

※出典…住民基本台帳人口移動報告（総務省）

## 2 徳島市における県外からの移住者数等の推移 (単位：人・世帯)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
人数	4 1	4 5	1 2 5	1 7 5
	対前年比	+4	+8 0	+5 0
世帯数	3 1	3 1	8 5	1 3 3
	対前年比	0	+5 1	+4 8

## 3 徳島市移住交流センターにおける令和元年度相談実績 (単位：件)

### ○年齢別の内訳

20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計
13	12	9	10	2	2	7	55

### ○地区別の内訳 ※四国は徳島県を除く

北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	徳島	九州	海外	不明
2	1	22	5	14	2	3	2	2	1	1

## 4 東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)在住者の「東京圏以外の地域(地方圏)での暮らし」の意識・行動を把握するためのWEBアンケート調査とグループインタビューより

【出典】内閣官房 令和2年5月15日「移住等の増加に向けた広報戦略の立案・実施のための調査事業報告書

- ◆ 東京圏在住者(20～59歳)の49.8%が「地方の暮らし」に関心を持っている。
- ◆ 地方圏出身者に限れば6割強が関心を持っており、東京圏出身者よりも高い。
- ◆ 若い方が「地方の暮らし」への関心が高い傾向が見られる。

# 持続可能な地域公共交通網への広域的な支援について

< 主管省庁局 県土整備部 >

## 【要望の趣旨】

鉄道や路線バスなどの地域公共交通網を維持・確保するため、広域的な支援について要望するもの。

### ◆現状・課題等

#### 現 状

- 公共交通の利用者数が年々減少していることに伴い、路線の廃止や減便が拡大している。また新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が激減しており、経営の悪化や事業継続が懸念される。
- 幹線道路に自動車が集積し渋滞が発生している。
- 徳島駅以外の鉄道駅やバス停は、交通結節点として十分な機能が果たせていない。
- 利用環境が十分に整備されていない鉄道駅やバス停がある。
- 市内を走るバス路線はすべて赤字である。
- 交通事業者の運転手不足が深刻であり高齢化も進行している。

#### 課 題

- 将来にわたる公共交通（支線や生活路線含む）の維持・確保及びそれに伴う財政負担
- 新型コロナウイルス感染症の影響への対応及び事業者への支援
- 路線バスの利便性と効率性の両立（並行・重複運行の改善）



国道192号線  
「佐古二番町」  
付近（R2.3月）

- 交通結節点における利用環境等の向上（鉄道とバスの円滑な接続、待合環境の向上）
- 地域公共交通ネットワークの包括的なマネジメントの強化

将来にわたって持続可能な地域公共交通網の形成に向け、広域的見地から市町村及び交通事業者間の支援体制の構築が必要である。

### ◆具体的要望内容

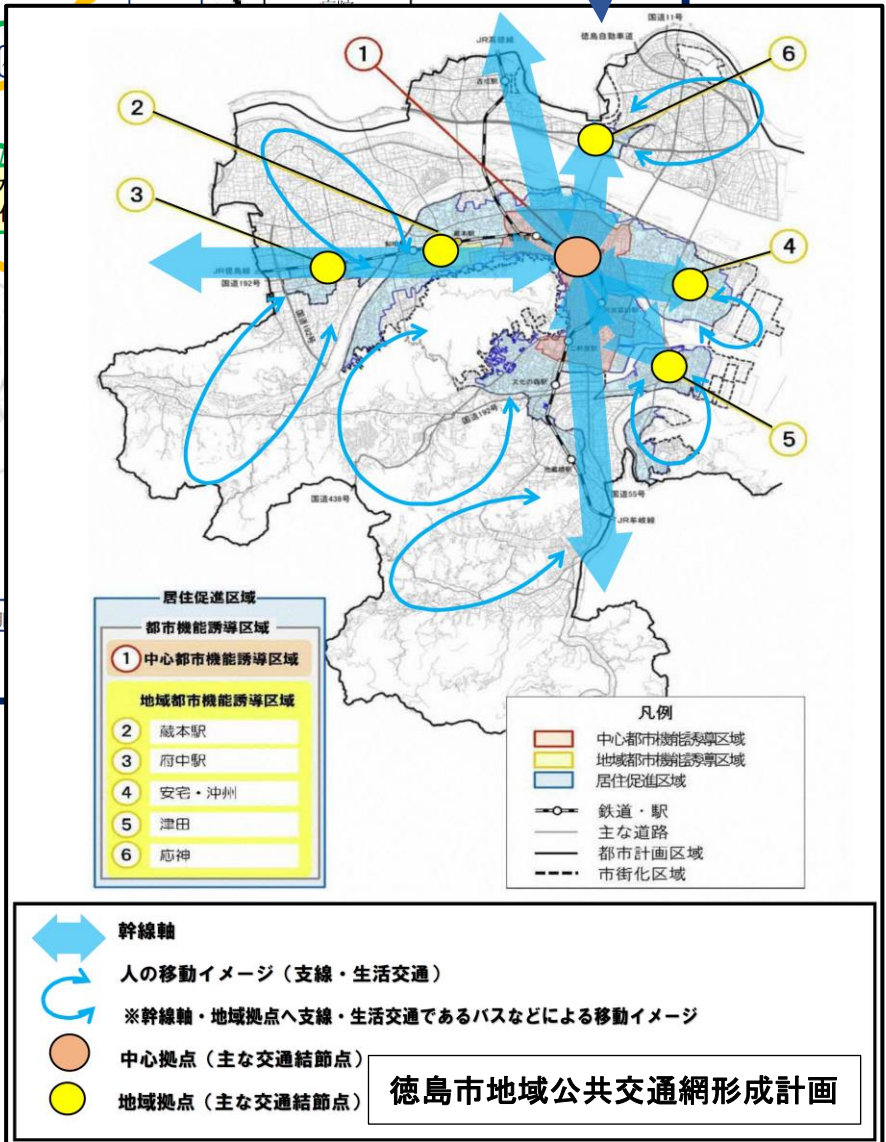
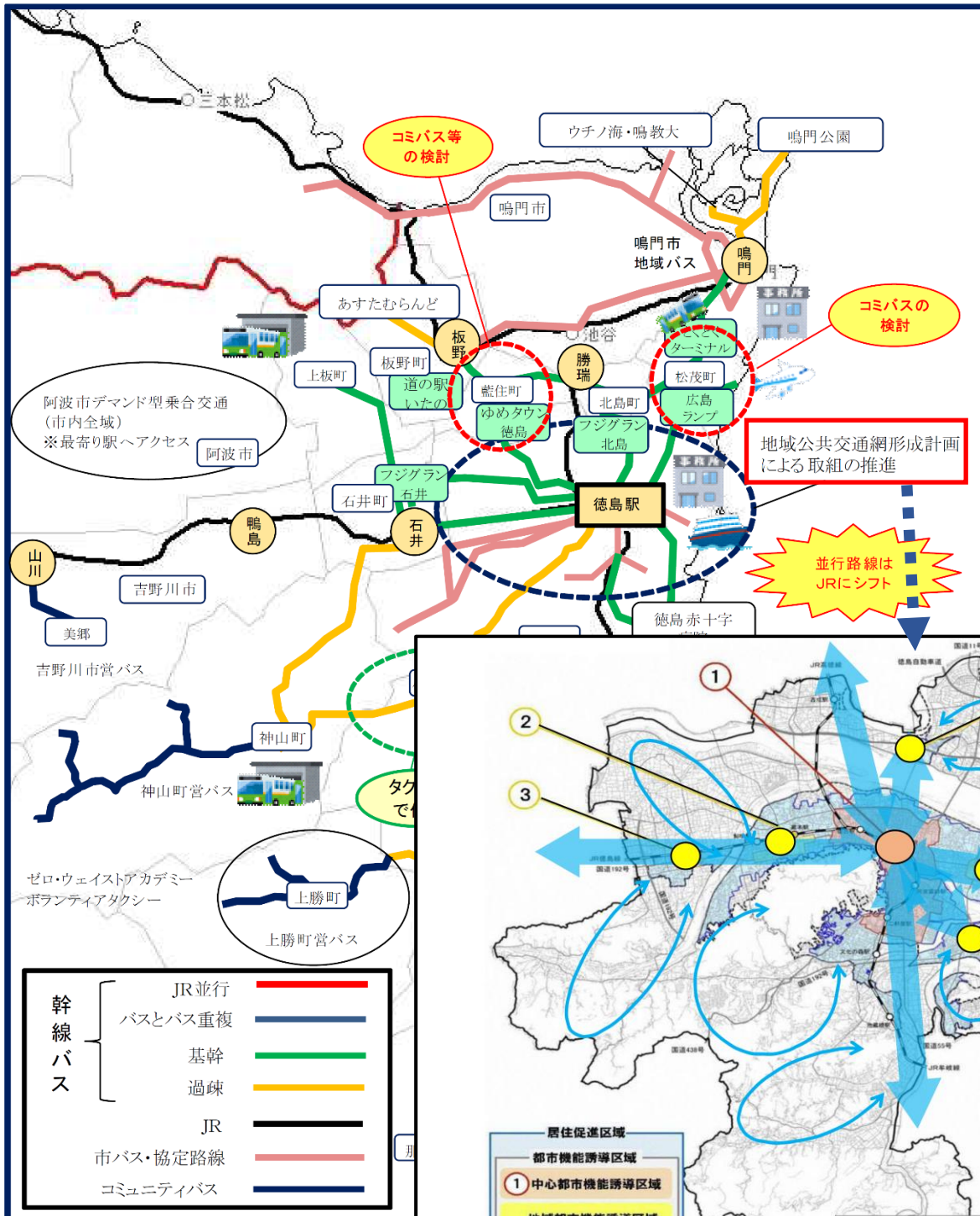
「徳島市地域公共交通網形成計画（令和2年3月策定）」に定める取組施策をより効果的に推進することができるよう、ご協力をお願いするとともに、新型コロナウイルス感染症による影響に対する交通事業者への各種支援について、格段のご配慮をお願いします。

「次世代地域公共交通ビジョン（令和元年12月策定）」に基づく広域的見地からの支援をお願いします。

- ① 市町村をまたぐ広域的な移動手段（幹線バス等）についての沿線市町村及び交通事業者との調整・支援
- ② 市が整備する鉄道駅の駐輪施設や待合環境等の整備に係る支援
- ③ 乗り継ぎ時の運賃割引（鉄道⇄バス等）やICカード等の導入検討などに向けた鉄道事業者との調整・支援

徳島市担当部課名 都市整備部 地域交通課

# 次世代地域公共交通ビジョンに基づく再編イメージ（県東部）・ 徳島市地域公共交通網形成計画



次世代地域公共交通ビジョン

# 高規格道路等の整備促進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

## 【要望の趣旨】

徳島市の将来計画において、高速道路網等の機能を高め人口減少など社会の変化に対応できる持続可能な都市づくりを目指すとともに、災害に強く人に優しい道路環境が整備されることを目指している。このことから高規格道路等の整備の促進について確実な事業の執行を要望するもの。

### ◆現況・課題等

#### 四国横断自動車道・徳島自動車道

- ・ 四国の高速道路ネットワークを形成
- ・ 本市と京阪神圏との広域交流に大きな効果を発揮

#### 徳島環状道路

- ・ 本市中心市街地周辺の交通渋滞の解消に大きく寄与

高速道路  
を補完

#### 現況

##### ○四国横断自動車道

⇒徳島市の産業集積地であるマリニピア沖洲産業団地や徳島県木材団地と高速道路へのアクセスが不便である。

##### ○徳島自動車道

⇒暫定2車線区間が約8割。  
⇒通行止め時間ワーストランキングでは上位。  
⇒速度低下の一因となるサグが15箇所存在。

##### ○徳島環状道路

⇒徳島市中心部では一般国道11号55号、192号が交差しているため交通の集中により渋滞が慢性化している。

#### 課題

##### ●四国横断自動車道

⇒高速道路、空港、港湾を生かしたまちづくり。  
⇒関西圏への効率的な陸上輸送に課題。

##### ●徳島自動車道

⇒利用者の安全性、快適性、定時性、信頼性の確保が必要。  
⇒大規模災害時の物資輸送路の確保。

##### ●徳島環状道路

⇒都市内交通と通過交通を分散させることが必要。

生産性を高め地域の活性化を図るためには高規格道路等の整備を促進する必要がある

### ◆具体的要望内容

高規格道路等の整備促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

#### ① 四国横断自動車道の整備促進

- ・ 小松島IC—徳島JCT間の側道整備事業及び周辺対策事業に対する支援
- ・ 津田ICにおけるフル化の実現

#### ② 徳島自動車道の早期4車線化

#### ③ 徳島環状道路の整備促進

- ・ 徳島東環状線（末広住吉工区、新浜八万工区）
- ・ 徳島西環状線（国府工区、国府藍住工区）

徳島市担当部課 都市整備部 広域道整備課

# 『徳島環状道路』の早期整備で中心部の渋滞緩和！ 地域生産性の向上による『地方創生』実現を！！

路線名	番号	観測地点	地名	平日24時間交通量(台/日)
一般国道55号	①	徳島市大松町上の口		44,523
	②	徳島市八万町沖須賀		58,962
一般国道11号	③	徳島市川内町鈴江北		57,493
	④	徳島市東吉野町1丁目		70,906
	⑤	徳島市徳島本町1丁目		60,247
一般国道192号	⑥	徳島市国府町観音寺		20,505
	⑦	徳島市庄町		28,928
	⑧	徳島市南出来島町		32,347

※H27年度 交通センサスより



**徳島市中心部  
渋滞状況**  
一般国道11号  
徳島市中洲町付近

**徳島東環状線  
川内工区  
(H24.4月 供用)**



**徳島東環状線  
阿波しらさぎ大橋  
(H24.4月 供用)**



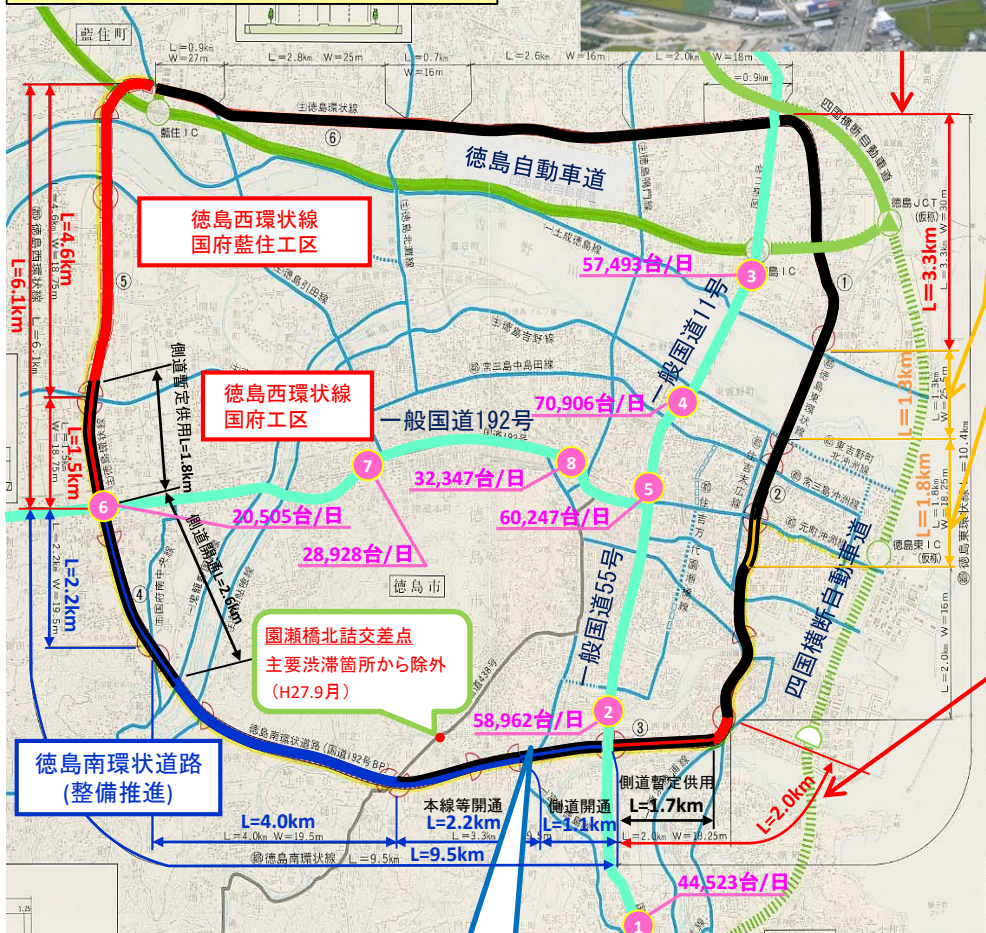
**徳島東環状線  
末広住吉工区  
(整備促進)**



**徳島東環状線  
新浜八万工区  
(整備促進)**



## 徳島環状道路 約35km



- 国土交通省
- 徳島県(道路事業)
- 徳島県(街路事業)
- 供用中



上八万IC～八万町橋北間の供用  
(H27.2月 供用)



# 県施行による一般道路事業の推進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

## 【要望の趣旨】

本市と隣接市町村を結ぶ主要幹線道路の渋滞緩和や安全で安心な道路環境を確保するため、早期に道路の拡幅や施設整備の推進について要望するもの。

## ◆現況・課題等

### 現況

#### ○国道 438 号ほか 2 路線

- ・自動車等の交通量が多い
- ・局部的に道路幅員が狭小
- ・道路網が不十分

### 課題

- 朝夕のラッシュ時には、交通渋滞が起こりやすく、交通事故も発生しやすい。

交通渋滞の緩和や安全で安心な道路環境を確保する必要がある

## ◆具体的要望内容

次の路線の早急な道路拡幅改良や施設整備の推進などについて、特段のご配慮をお願いいたします。

### (1) 渋滞緩和のため早期に計画を立て、推進していただきたい路線

- ① 国道 438 号のうち城南町 1 丁目から園瀬橋の間の拡幅改良整備



国道 438 号

### (2) 現在進行中であるが、なお一層推進していただきたい路線

- ① 県道西黒田中村線として、市道西黒田芝原線を活用した県道第十白鳥線までの拡幅改良及び新道整備  
⇒交通ネットワーク向上のため
- ② 県道徳島上那賀線のうち飯谷町高良地区、小松島市田浦地区の拡幅改良整備  
⇒道路幅員が狭くなっており危険であるため

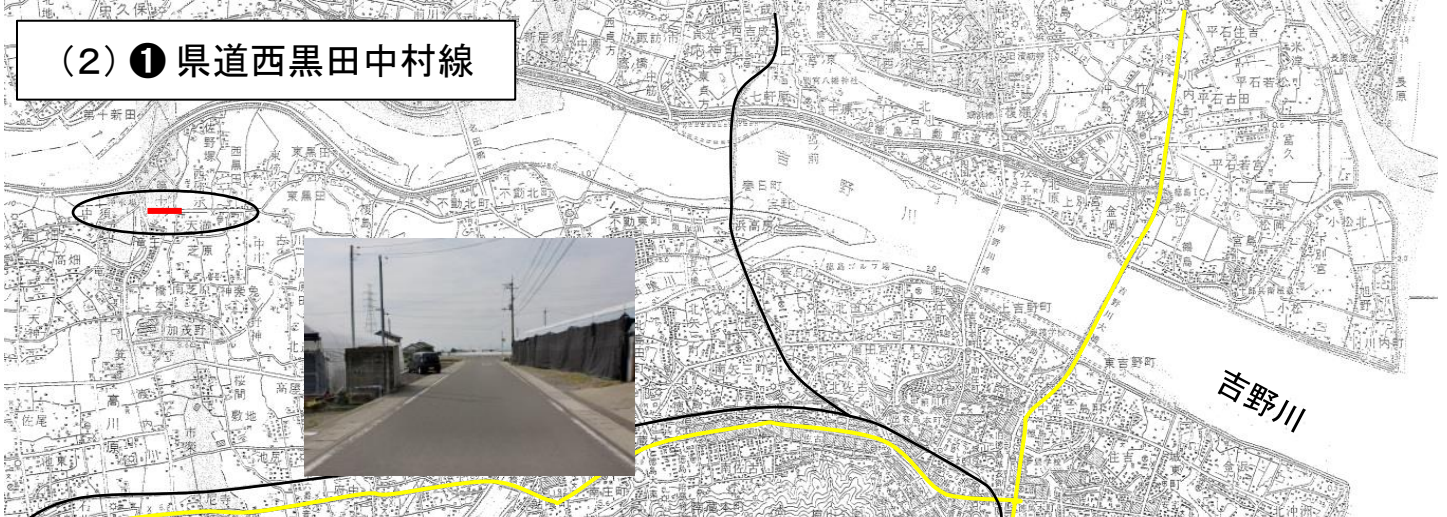


道路用地取得が難航している県事業において、市が積極的に協力することにより事業の推進を図ります。

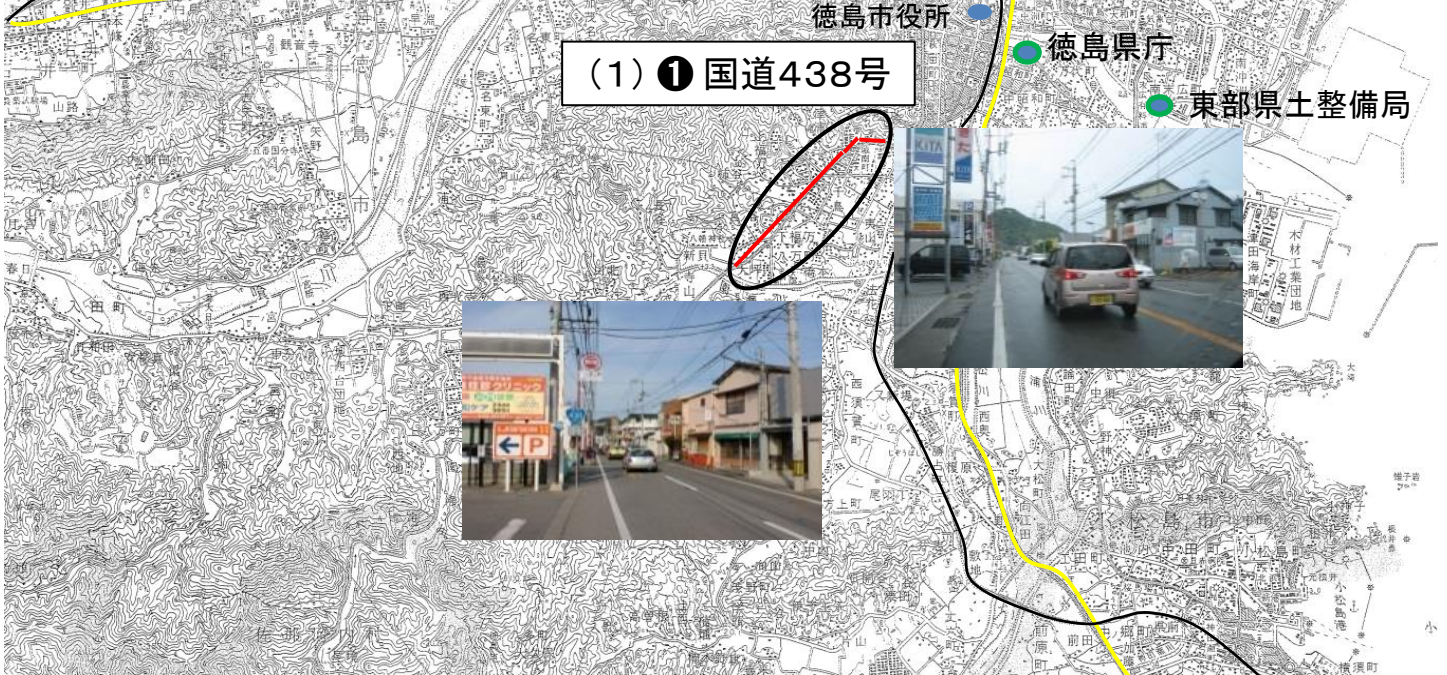
徳島市担当部課名 土木部 道路建設課

# 重要事項の要望場所図

(2) ① 県道西黒田中村線



(1) ① 国道438号



(2) ② 県道徳島上那賀線



- (市) 役 所
- (町) 役 場
- (村) 役 場
- (指定) 郵便局
- (官) 公 署 (特定の) 記号のないもの
- 観 光 所
- 税 務 署
- 堂 林 墓
- 測 候 所
- 祠 院
- 社 院
- 塔
- 寺
- 高 塔
- 記 念 碑
- 理 突
- 電 塔
- 法 塔
- 井 ガス
- 井

承認番号 平30徳島市指令第127号

# 県管理河川の治水及び地震・津波対策の促進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

## 【要望の趣旨】

台風等による浸水被害や今後想定される南海トラフ巨大地震による津波の被害の軽減を図るため、徳島市内の県管理河川における必要な対策の促進について、要望するもの。

## ◆現況・課題等

### 現況

- 園瀬川  
⇒改修工事が進んでいるが、無堤防地区が解消されていない。
- 多々羅川  
⇒河道拡幅等の未整備箇所が多く残っている。
- 打樋川  
⇒排水対策が必要である。
- 勝浦川  
⇒堤防の地震・津波対策が必要である。
- 飯尾川  
⇒河川改修、排水対策が必要である。

### 課題

- 大規模な台風やゲリラ豪雨の発生時には、流域で河川が氾濫し、甚大な被害が発生することが懸念される。
- 南海トラフ巨大地震を震源とした地震で河川管理施設が損傷した場合、津波等による二次被害が懸念される。



【園瀬川】川西地区・明善地区の堤防整備及び上中筋地区の漏水対策の促進

市民の安全かつ安心な生活を確保するための対策が必要である

## ◆具体的要望内容

県管理河川における治水や地震・津波対策の促進に向け、予算枠の拡大と未整備箇所の事業促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

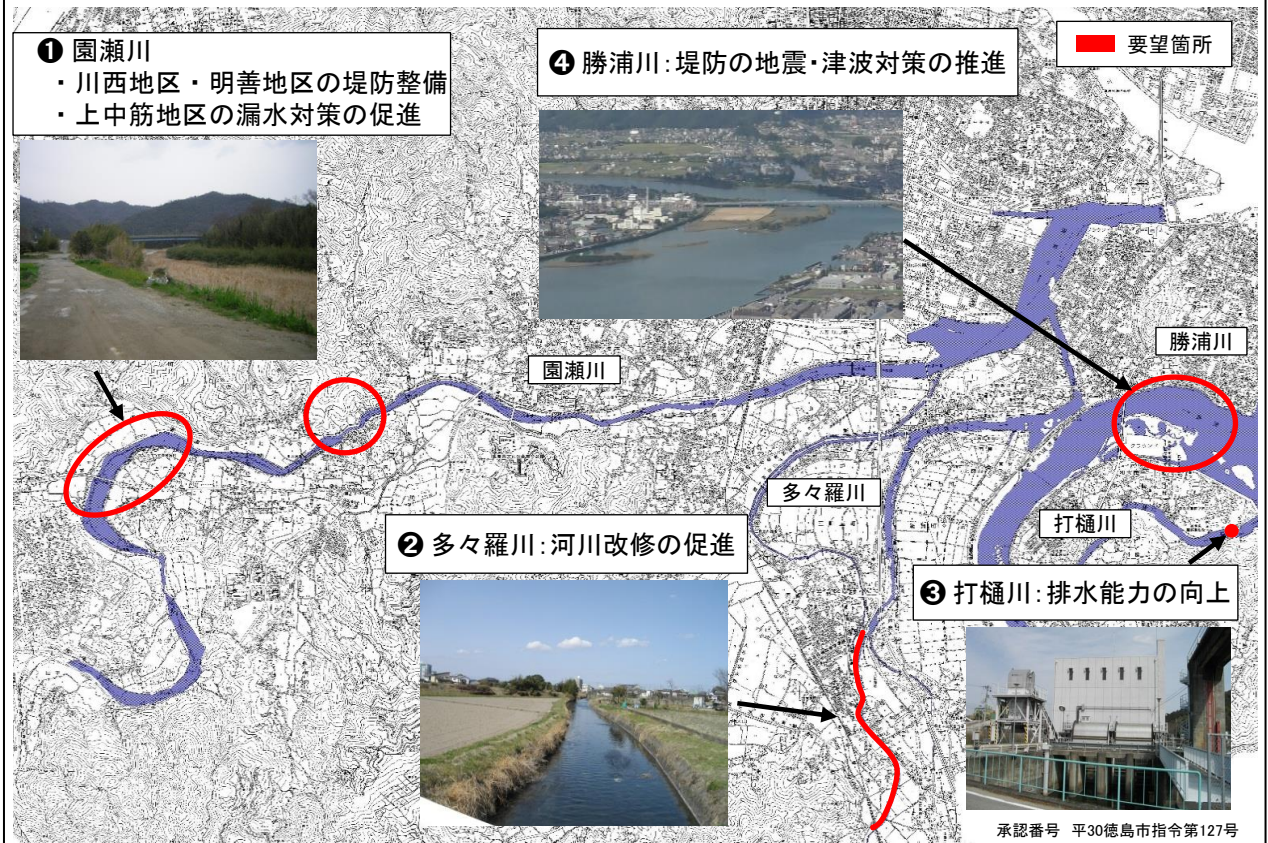
- ① 園瀬川 川西地区・明善地区の堤防整備及び上中筋地区の漏水対策の促進
- ② 多々羅川 河川改修の促進
- ③ 打樋川 排水能力の向上
- ④ 勝浦川 堤防の地震・津波対策の推進
- ⑤ 飯尾川 西大堀川、東大堀川の河川改修の促進、加減堰左岸側の撤去は角ノ瀬排水機場の排水能力及び下流部の流下能力に応じたものにする

用地取得が難航している県事業において、市が積極的に協力することにより事業の推進を図ります。

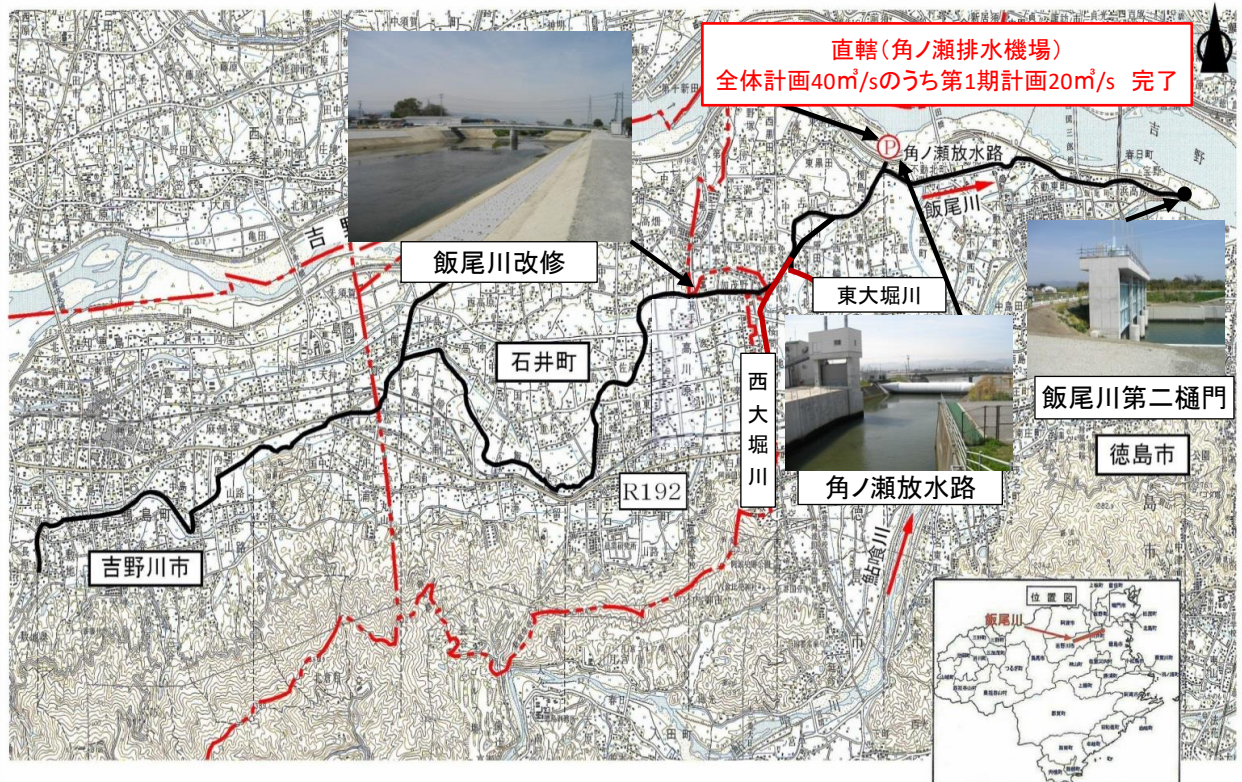
徳島市担当部課名 土木部 河川水路課



## 園瀬川・多々羅川・打樋川・勝浦川 要望箇所 位置図



## ⑤ 飯尾川 概要図





Tokushima City